

学習指導要領に示された本単元に関わる目標

1 外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 英語の目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 聞くこと

ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。

(4) 話すこと〔発表〕

ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

3 英語の内容

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して、次に示す言語材料のうち、1に示す五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

エ 話すこと〔発表〕

(ウ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、学校生活や地域に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動。

第5学年西組 外国語科学習指導案

学習指導者 田中 明日香

1 単元「日本のおすすめの場所を紹介しよう ～ Welcome to Japan.～」について

【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

外国の人に日本のおすすめの場所について紹介するために、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、適切な言語材料を活用して相手に伝える紹介を考え、友達等と交流しながら紹介内容や紹介方法を見直して、意欲的に外国の人に紹介するなど、進んで他者と関わろうとしている。

本単元では、自分が行ったことのある日本のおすすめの場所の行事や食べ物等について、ニュージーランド（以下NZと表記）の小学生に英語で紹介する言語活動を設定する。外国の小学生に日本のことを知ってもらい目的意識や相手意識をもって伝えたい事柄を決め、必要な英語表現を組み合わせ、写真やイラストを添えて紹介を考える。考えた紹介について、NZの人に伝えることを想定して友達やALT等と交流し、質問やアドバイスをすることを通して、相手にとって分かりやすい紹介内容やジェスチャー、発音などの紹介方法の改善点を見つけて、紹介を見直していく。例えば、「You can see Hakata Gion Yamakasa in July.」という友達の紹介を聞いて「何月にあるのか伝えていて分かりやすいね。ぼくも季節や月を入れて伝えよう」と自分の紹介に生かす。紹介した子供は「What's Hakata Gion Yamakasa?」と質問されたり「お祭りだと伝えた方がいい」というアドバイスを聞いたりして、お祭りと伝わらなかった理由を考え、「It's Kushida shrine's festival.」と付け加えれば、お祭りと分かるかな。NZの人にも神社のお祭りの様子が伝わるような写真を用意して指し示そう」など見直して、相手に配慮したよりよい紹介にしていく。英語を使って自分の思いを表現し、他者と交流することで自分の紹介がよりよくなることを実感し、意欲的にNZの小学生に日本について紹介するなど、進んで他者と関わろうとしていくのである。

2 単元計画（総時数 8時間）

日本のおすすめの場所を知りたいというNZの小学生からの手紙を紹介して単元の導入を行い、単元を通して目的意識、相手意識をもって活動できるようにする。子供たちが相手に伝えたいと考えた行事や季節、食べ物と味覚などの表現について、細分化して、子供たちの意識に合わせて学習していくことができる単元構成にしている。

次	学習の流れ及び主な子供の意識
一 二	<p>① おすすめの場所を紹介する計画を立てよう</p> <p>ニュージーランドの小学生の写真や手紙を紹介し、日本のおすすめの場所を紹介するという単元の見通しをもつ。ALTのおすすめの場所についての話を聞いたり、伝えたいことを話し合ったりして学習計画を立てる。</p>
	<p>②③ 日本の行事や場所、季節を聞いたり伝えたりしよう</p> <p>日本の伝統的な行事や建物、各地のお祭りとそれが行われる季節の言い方について、紹介する表現を知る。自分が行ったことのある場所の行事や観光地について言い方を調べたり、紹介の仕方を考えたりする。</p>
	<p>④ 食べ物とその味などについて聞いたり伝えたりしよう</p> <p>日本の食べ物と、その味を表す表現を知る。自分が紹介したい場所の有名な食べ物や、その味の伝え方を考え、友達と伝え合う。</p>
	<p>⑤ おすすめの場所を紹介する準備をしよう</p> <p>自分の伝えたいことを整理して、伝える紹介文を作り、写真、イラストを使って一枚のボードにまとめる。</p>
	<p>⑥⑦ 友達と見せ合って、よりよい紹介にしよう (本時 6/8)</p> <p>グループの友達と紹介を見せ合って、質問やアドバイスをし、自分の紹介内容を見直す。自分の紹介を動画で見たり、友達やALTに再度聞いてもらったりして紹介方法を見直す。</p>
	<p>⑧ おすすめの場所の紹介を聞き合おう</p> <p>おすすめの方法について、全員で紹介し合うとともに、外国の友達に送るための動画を撮影する。友達の紹介を聞いて、お互いの良さを認め合い、交流する楽しさを味わう。</p>

3 本時について

目 標	おすすめの場所について友達と紹介し合い、質問やアドバイスを伝え合うことを通して、紹介の仕方の工夫や改善点を見付け、よりよい紹介内容に見直すことができる。
--------	--

学習活動	主な子供の意識	
<p>1 学習課題を確認する。 【紹介プラン・レビューシート】</p>	<p>前の時間は、外国の友達に紹介する準備をしていたよ。紹介する内容や見せる絵や写真を用意したよ。伝えたいことがうまく相手に伝わるかな。</p> <p>NZの人に伝える前に、もう少し練習をしたい。友達の紹介を見てみたい。</p> <p>準備はできたけど、相手に伝わるかな。友達に聞いてもらって確認したい。</p>	
<p>友達と見せ合って、よりよい紹介にしよう</p>		
<p>2 グループで紹介し、質問やアドバイスをし合って改善点を見付ける。 【紹介タイム・紹介ボード】</p>	<p>先生みたいに紹介ボードを見せて紹介して、ママーズさんのようにNZの人になったつもりで英語で質問したりやアドバイスをしたりしたらいいんだね。</p> <p>Takamatsu is Nice place. You can eat Sanuki Udon.It's white noodle. It's delicious,with green onion. You can visit Setouchi Triennale. It's beautiful and fantastic.'</p> <p>I like Fukuoka. You can eat HakataRamen. You can see Hakata Gion Yamakasa in July. It's exiting.</p> <p>What's Hakata Gion Yamakasa? When is Setouchi Triennale?</p> <p>3年に1回で、次は2022年にあるよ。 Hakata Gion Yamakasa is festival.</p> <p>〇〇さんは「いつ」を入れていて、分かりやすいね。瀬戸内芸術祭は何月というのはいないけれど、何年にあるかを言った方がいいのかな。 博多祇園山笠が神社のお祭りだということが伝わらなかったな。△△さんは、食べ物の説明をたくさんしていて分かりやすいね。</p>	
<p>3 自分の紹介を見直す。 【紹介タイム・紹介ボード】</p>	<p>□□さんは、行事は写真を使って説明して、食べ物を説明する言葉を増やしてNZの人にも分かるように直しているんだね。私も自分の紹介を見直そう。</p> <p>3年に1回ということ伝えたい。ママーズさんに聞いてみよう。 博多ラーメンやお祭りのことをもう少し詳しく伝えよう。</p> <p>“You can visit Setouchi Triennale.”の後に“once every three years”を付け加えて言おう。代わりに写真で伝えるうどんの説明は減らそう。 ラーメンのスープが分かるように言おう。山笠が神社のお祭りだと伝えるように、紹介の文章に“It's Kushida shrine's festival.”と付け加えよう。</p> <p>文章が考えられたから、もっと練習してみよう。</p>	
<p>4 本時の学習をまとめ、学習の振り返りをする。 【レビューシート】</p>	<p>〇〇さんが行事のある月を入れていて、自分もいつあるか伝えようと思いました。外国の人にも伝わるかジョン先生にも聞いてもらいたいです。 △△さんに質問されて、博多祇園山笠が外国の人には分かりにくいと気付きました。文章を増やしたので、次はもう少し練習したいです。</p> <p>新しい言葉や写真を付け加えたので、内容はよくなったよ。新しい言葉が入ったから、もう少し練習をしたいな。</p>	

評 価	友達と自分のおすすめの場所について紹介し合い、自分の紹介の改善点を見付けて、よりよい紹介内容に見直している。 【方法：紹介ボード・様相】
--------	--

4 子供の実態と働きかけの詳細

子供の実態	働きかけの詳細
<p>～課題設定以前～</p> <p>メタ認知の実態</p> <p>34名中9名が、授業のはじめに、自分が分かっていることは何で、まだ分かっていないことは何かを考えていない。</p>	<p>学習活動1 【紹介プラン・レビューシート】(2～8時間)</p> <p>単元の導入で子供と一緒に立てた学習計画(紹介プラン)を掲示しておき、毎時間、単元の学習がどこまで進んだか確認できるようにする。既習の表現等を掲示し、自分ができるようになったことと、やってみたいことなどを指し示しながら振り返り、学習課題を設定していく。本時は、紹介プランやレビューシート(詳細は活動4参照)を見て前時までに紹介の準備をしてきたことを想起し、自分ができるようになったことを意識できるようにする。そして、前時に考えた「次をやってみたいこと」や単元のゴールに向けて本時したいことを共有して、よりよい紹介に改善しようという課題の妥当性を感じることができるようになる。</p>
<p>～課題解決中～</p> <p>メタ認知の実態</p> <p>34名中8名が、授業の途中で、自分の考えと比べながら友達の考えを聞いていない。</p> <p>教科に関わる実態</p> <p>34名中15名が、英語で分からなくて困ることがあると答えた。授業中にもっと知りたい表現や分からない表現が出た時に15名中11名は友達に聞く、15名中4名は先生やALT、ママーズに聞くと答えた。</p>	<p>学習活動2・3 【紹介タイム・紹介ボード】(2～4, 6・7時間)</p> <p>自分の紹介を友達やALTなどと交流する場(紹介タイム)を設定する。教師だけでなく友達と発音し合う場を設定し、発音の機会を増やし、友達から反応をもらうことで自信を高め、自分の表現の不十分な部分を見付ける。紹介タイムでは紹介内容を文や写真・イラストでまとめた紹介ボードを見せながら交流する。考えた紹介ボードを毎時間タブレットで撮影しておき、よりよくなっていることを実感できるようにする。また紹介文は、行事、食べ物、時期等の説明になる内容の単語ごとに色分けし、それを組み合わせながら文章を作る。色分けをしておくことで、内容ごとの説明の量に着目することができるようにする。本時の活動のはじめにHRTとママーズ(英語支援隊)による活動のモデリングをする。HRTが紹介をしている間、ママーズはNZの人の立場で聞き、質問やアドバイスをする。子供たちは、紹介タイムで互いの紹介を見合う視点をもつことができるだろう。紹介した子供は自分の良いところを再確認したり、伝わりにくいところを見付けたりしていく。友達の紹介を聞いた子供たちは、紹介ボードの色分けした単語を見て「〇〇さんは時を表す言葉を使っていたけど、私は使っていなかった。私の紹介には時を表す言葉は必要かな」などと友達と自分の使っている表現との異同に気づき、表現の工夫を見付けて、自分の紹介内容を見直していくのである。交流中には、ママーズはグループに入って、英語表現を教えたり、グループのよいやり取りを見付けて称賛・紹介して中間評価を行ったりする。また、自分の思いを友達に伝えることが苦手なA児には、紹介ボードを指し示したり、紹介文を一語ずつ提示したりして紹介することを約束し、安心して活動に取り組めるようにする。</p> <div data-bbox="1070 674 1433 925"> <p>Kagawa is nice place. You can eat Sanuki Udon. It's noodle. You can visit Setouchi Art Festival. It's fantastic. Here!!</p> </div> <p>【紹介ボード】</p>
<p>～課題解決後～</p> <p>メタ認知の実態</p> <p>34名中9名が、授業の終わりに友達の意見を聞いて分かったことを考えていない。</p>	<p>学習活動4 【レビューシート】(1～8時間)</p> <p>振り返りを習慣化し、1枚のレビューシートに蓄積することで、前時までの自分の思いを想起しやすくする。紹介の自信度を毎時間付け加えていくことで自分の成長を実感しやすくする。振り返る項目として「自信度メーターの理由と次にやってみたいこと」「サンクスフレンズ(頑張っていた友達)」を記述する。「サンクスフレンズ」を記述することで、友達との交流の価値を振り返ることができるようにしたい。振り返りを全体で交流し、子供が表出したことを紹介プランに位置付け、次時の課題設定へとつなげる。</p> <div data-bbox="932 1704 1433 1868"> <p>紹介自信度メーター(メーターで表そう) 毎時間色を変えてめろ</p> <p>0% 50%</p> <p>自信度メーターの理由・次にやってみたいこと 福岡県の行事を言えるようになったから。次は、博多ラーメンの説明を言えるようになりたい。</p> <p>サンクスフレンズ(がんばっていた友達と理由) 〇〇さんが、季節だけでなく何月か言っていたらいいと言っていたので、行事がいつあるか言えればいいと分かった。</p> </div> <p>【レビューシート】</p>